

○水生生物モニタリング調査結果一覧(相馬市沖)

<相馬市沖 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	○	○	○	○	○	○
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		水質					底質		その他	
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)	水温(℃)	混濁(℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)		
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.8.20	—	9:22	—	24.6	シルト混細砂	10Y3/1	なし	—	—		
L-2	37.8155°	140.9763°		8:05	8:45	24.3	24.5	砂	2.5Y3/3	貝殻、植物片	1.8	>1.8		
L-3	37.8217°	140.9765°		7:50	9:08	24.4	24.5	シルト混細砂	10Y3/1	貝殻、植物片	1.8	>1.8		

<相馬市沖 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	計画緯度	計画経度	日	時刻(水)												
L-2	37.8155°	140.9763°	H27.8.20	8:05	8.1	<0.5	2.3	6.6	5040	32.27	1.0	4	0.8	0.0038	0.015	0.0014
L-3	37.8217°	140.9765°		7:50	8.1	0.5	2.6	6.8	5030	32.20	1.2	5	2.1	0.0062	0.023	—

<相馬市沖 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>C,H,E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	計画緯度	計画経度	日	時刻(泥)							シルト (0.005~0.0075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径	最大粒径							
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.8.20	9:22	7.8	-72	33.9	3.4	2.699	2.1	5.2	24.6	37.6	14.1	16.4	0.16	9.5	45	160	—	
L-2	37.8155°	140.9763°		8:45	7.7	102	20.4	1.1	1.4	2.746	1.5	7.1	80.9	9.1	0.5	0.9	0.42	9.5	1.4	6.2	N.D.(0.15)
L-3	37.8217°	140.9765°		9:08	7.8	125	26.8	1.3	2.5	2.715	0.0	0.5	54.4	37.7	2.9	4.5	0.27	4.8	8.1	36	—

<相馬市沖 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項		放射性セシウム (Bq/kg-wet)		Sr-90 (Bq/kg-wet)				
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	Cs-134		Cs-137			
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H27.8.20	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン(浮遊藻類)	—	0.16	—	—	—	—	—	—			
					藻類・植物	単子葉植物	—	7枚	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	1.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
					節足動物	軟甲	アミ	アミ	—	アミ科	—	0.16	成体	—	—	—	N.D.(0.58)	1.3	—		
					節足動物	軟甲	エビ	オウゴン	—	イソガニ属	—	126	0.17	成体	—	—	—	N.D.(0.60)	2.1	—	
					軟体動物	二枚貝	ササギ	イサギ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	—	27	0.38	成体	—	—	—	軟体部	0.50	1.5	—
					軟体動物	二枚貝	マササギ	マササギ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	—	91	0.35	成体	—	—	—	軟体部	0.31	1.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ササギ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	—	3	0.036	未成魚(0歳)	—	—	—	—	N.D.(1.1)	2.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ブリソゴ	—	9	0.015	未成魚/成魚(0歳)	—	—	—	—	N.D.(2.5)	3.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ホウ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	—	13	0.18	未成魚(0歳)	—	—	—	—	—	2.8	12

- ※1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5: 成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。
- ※6: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※7: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落とすものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※8: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※9: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。